

テレビ視聴等の調査を実施

近江八幡市立馬淵小学校では、学校とPTAにより、全校的な取組として「テレビ視聴等の調査」を実施されました。各家庭に対してテレビ視聴等に関する調査を呼びかけられた内容と子どもたちが記入した点検表を紹介します。また、夏休み期間中には、児童会保健委員会の取組として、「ノージュース・ノーアイス運動」にも取り組まれており、2学期初めには、そのがんばりを讃えて保健委員会から賞状がわたされています。

テレビ視聴等の調査について

・・・(略)・・・全国的に、早寝・早起き、読書、あいさつなどが子どもの成長にとって、大変重要な意味を持つことが叫ばれていることはご承知の通りです。昨年度の近江八幡市教育研究所発表会では、小児神経科医師宇野先生のご講演の中でも、子どもの生活、特に睡眠とテレビのことについて以下のような内容を指摘されました。

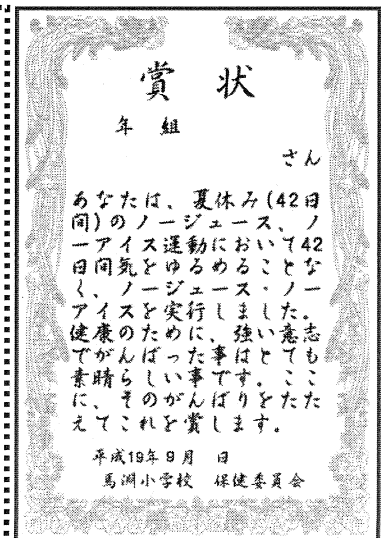
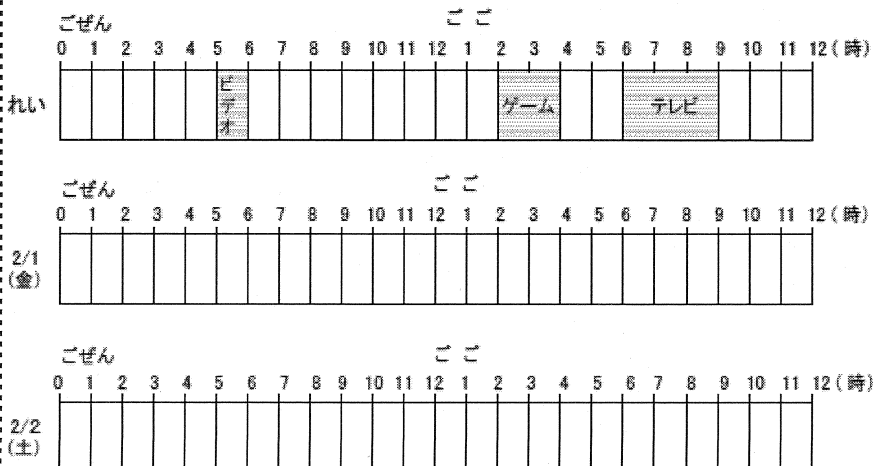
- ◆5歳児の全国調査 睡眠リズムの乱れのある子の8割が、無気力、攻撃的、パニック、集中力欠如等が見られる。しかし、早寝・早起きのできている子では1割である。
- ◆テレビなどの平均視聴時間が4時間以上になると、行動異常が見られる。2時間を越えるあたりから行動異常が増える。

子どもの成長は、早寝・早起きそしてテレビ視聴と大きな関係が十分うかがわれます。以前より日本小児科医師会は、テレビ・ゲーム・その他メディア問題に対して同じような提言をしています。(＊メディアとは、テレビ・ビデオ・テレビゲーム・携帯ゲーム・インターネット・携帯電話等)

しかしながら、本校児童の家庭生活実態の様子から、テレビ、テレビゲームを中心にメディアに接する時間数が多い傾向がうかがわれます。そこで、PTAと学校が協力して下記のような生活アンケートを実施することとしました。・・・(略)

【↑PTA会長・校長名で保護者向けに出された調査依頼から抜粋】

れいをさんこうにして、テレビやビデオをみだしかん、
ゲームやパソコンであそんだじかんをかきましょう。



【↑視聴時間記入グラフ(実際は2月1日(金)～2月7日(木)の期間実施)】 【↑保健委員会からの賞状】